

北朝鮮経済の動向と対外経済 関係拡大の可能性

ERINA調査研究部

三村光弘

© 2008 ERINA

北朝鮮経済の動向

2006～07年の北朝鮮経済

- 核実験実施後の国連制裁で経済に打撃
- 制裁の貿易への影響は短期間で収束
- 2006年中盤より経済成長鈍化(-1.1%)
- 実生活における市場化は引き続き進展
- 2007年、2008年新年共同社説は経済を重視(特に国民生活向上)
- 2008年共同社説は対外経済協力に言及

変わりつつある北朝鮮経済

- 1990年代とは全く変わった現状
- 経済改革の継続
- 「下からの市場化」の継続
- 非国営経済の浸透
- 「行き過ぎ」を修正するための統制強化→
三歩進んだものを二歩戻して制度化

アイスクャンディーの種類も豊富に



「ロハ」の「つ」の「と」?

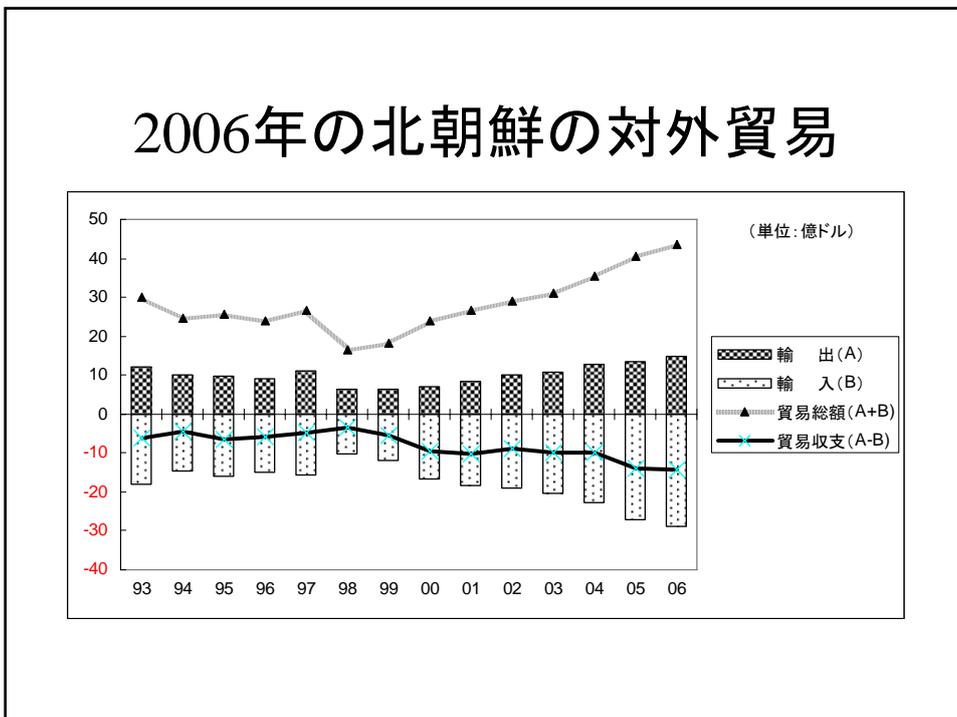
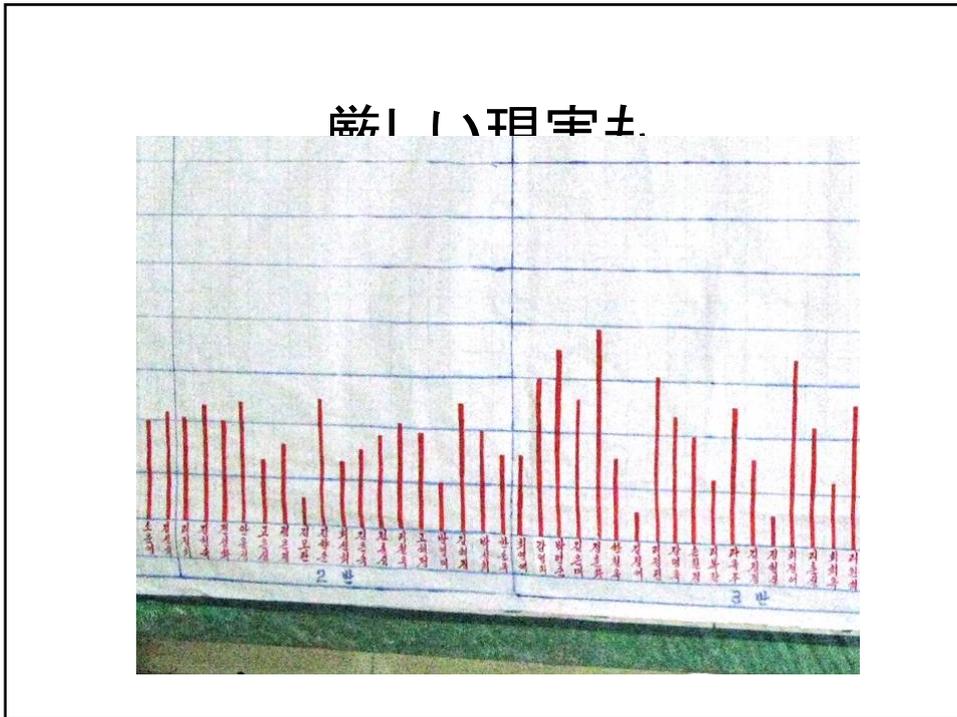


満稼働する工場も増加

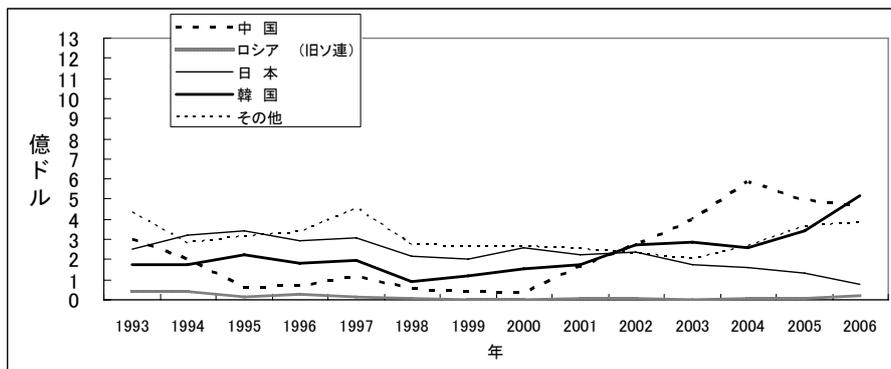


手さばきも鮮やかに

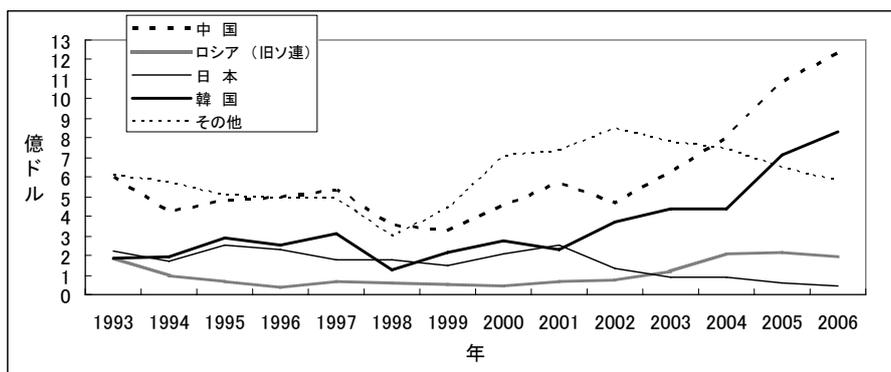




2006年の北朝鮮の国別輸出額



2006年の北朝鮮の国別輸入額



対外経済関係の深化と経済の変化

- 日本との貿易の激減
- 中国や韓国との貿易・投資の増加
- 新たな貿易相手国の台頭(東南アジア)
- 国内の消費市場の拡大と輸入品の増加
- 海外直接投資増加の予感(2008年新年共同社説)

今後の北朝鮮経済の見通し

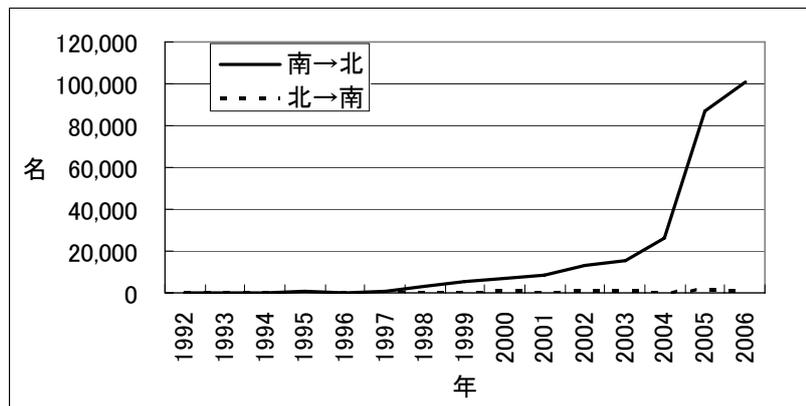
- 核問題をめぐる米朝関係の進展
 - 「核放棄」の内容をめぐる両国の認識の差
 - ブッシュ政権中の関係改善は無理か？
 - 次のチャンスは2年後？
- 国内の経済改革だけでは限界
 - 海外直接投資の誘致が必要
 - 近未来の北朝鮮における有望産業は何か

韓国との経済関係

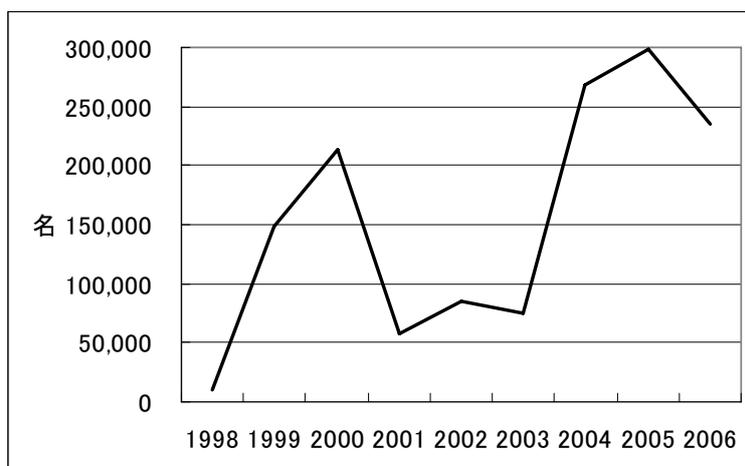
南北経済協力

- 南北間の貿易、委託加工の増加
- 金剛山観光地区
- 開城工業地区(開城工業団地)の第1期分譲の進展
- 南北間の相互依存性の深化(現状ではどちらかというと北側が南側に依存)

南北間の人的交流 (金剛山観光を除く)



金剛山観光の訪問者数



2006年の南北交易

(単位:千米ドル)

大区分	中区分	小区分	2006年1月～12月			比率	
			搬出	搬入	合計		
商業性取引	貿易	一般貿易	22,178 (6.3)	281,952 (49.2)	304,130 (44.9)	22.53%	
		委託加工貿易	93,571 (19.1)	159,387 (21.4)	252,958 (20.6)	18.74%	
		小計	115,750 (16.4)	441,339 (37.8)	557,089 (32.7)	41.27%	
		経済協力事業	222,853 (41.9)	75,943 (283.6)	298,796 (69.0)	22.14%	
	開城工団事業	金剛山観光事業	56,568 (△34.9)	86 (72.0)	56,654 (△34.9)	4.20%	
		その他の経済協力事業	14,511 (133.9)	1019 (3187.0)	15,530 (149.1)	1.15%	
		小計	293,932 (17.4)	77,048 (287.6)	370,980 (37.3)	27.49%	
	合計	409,682 (17.2)	518,387 (52.4)	928,069 (34.5)	68.76%		
	非商業性取引	対北支援	民間支援	407,528 (67.9)	32 (△23.8)	407,560 (67.8)	30.20%
			政府支援	11,696 (△90.4)	0 (△100.0)	11,696 (△90.4)	0.87%
小計			419,224 (14.8)	32 (△46.6)	419,256 (14.8)	31.06%	
社会文化協力事業		1,294 (124.2)	1,120 (448.0)	2,414 (208.0)	0.18%		
軽水炉事業		軽水炉建設	0 (△100.0)	0 (0.0)	0 (△100.0)	0.00%	
		KEDO重油	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	-	
		小計	0 (△100.0)	0 (0.0)	0 (△100.0)	0.00%	
		合計	420,518 (14.9)	1,152 (334.7)	421,670 (15.1)	31.24%	
総計		830,200 (16.0)	519,539 (32.8)	1,349,739 (27.8)	100.00%		

(注)括弧内の数値は前年比の増減を示す。
(出所)韓国貿易協会『2006年1～12月南北交易動向』。比率は著者が計算。

南北交易の特徴

- 一般貿易は総額の2割強
 - 北側からの搬入が増加
 - 「あげるだけの支援」批判に対する対応
- 委託加工貿易は総額の2割弱
 - 南北共にメリット
- 開城と金剛山関連の物資移動が3割弱
 - 修理などでの同一物品を複数カウント
- 残り3割強は民間と政府の援助

北→南の主要交易品目 (一般交易)

(単位:千米ドル、%)

順位	品目	金額	増加率	構成比
1	亜鉛隄	81,264	93.9	28.8
2	非鉄金属鉱物	54,672	133.1	19.4
3	貝類	35,127	12.7	12.5
4	乾燥水産物	16,901	△3.6	6.0
5	水産加工品	14,998	67.4	5.3
6	軟体動物	12,445	6.9	4.4
7	シイタケ	10,711	42.0	3.8
8	ワラビ	7,797	41.4	2.8
9	タコ	7,747	42.1	2.7
10	エビ	4,462	137.2	1.6
	合計	246,124		87.3

(注)品目はHSコード6桁、増加率は前年比
(出所)韓国貿易協会(2007)8ページの表

北→南の主要交易品目 (委託加工)

(単位:千米ドル、%)

順位	品目	金額	増加率	構成比
1	運動服	34,371	2.4	21.6
2	男性ズボン	25,035	43.4	15.7
3	コートおよびジャケット	19,494	6.4	12.2
4	紳士スーツ上着	18,856	39.0	11.8
5	女性用ズボン・スカート	9,441	7.1	5.9
6	CRT TV(デジタルのもの)	5,714	56.5	3.6
7	ブラウス	4,807	96.4	3.0
8	アンダーシャツ	4,794	103.3	3.0
9	下着室内着	4,124	32.5	2.6
10	女性スーツ上着	3,417	13.3	2.1
	合計	130,053		81.5

(注)品目はHSコード6桁、増加率は前年比
(出所)韓国貿易協会(2007)9ページの表

南→北の主要交易品目 (一般交易)

(単位:千米ドル、%)

順位	品目	金額	増加率	構成比
1	銅製巻線用電線	3,265	76.2	14.7
2	変圧器部品	2,357	9.0	10.6
3	機械類	1,829	237.4	8.2
4	船舶	1,809	65.9	8.2
5	軽油	1,445	507.1	6.5
合計		10,705		48.2

(注)品目はHSコード6桁、増加率は前年比
(出所)韓国貿易協会(2007)7ページの表

北→南の主要交易品目 (開城工団)

(単位:千米ドル、%)

順位	品目	金額	増加率	構成比
1	鉄製構造物	25,867	3986.4	34.1
2	靴の部品	8,580	445.8	11.3
3	建設中の装備	5,803	217.7	7.6
4	プラスチック製品	3,592	185.3	4.7
5	腕時計	1,638	357.5	2.2
6	電線	1,613	9388.2	2.1
7	その他の手工具	1,398	8.2	1.8
8	自動車部品	1,256	1720.2	1.7
9	冷蔵庫部品	1,033	522.2	1.4
10	靴	988	-	1.3
合計		51,768		68.2

(注)品目はHSコード6桁、増加率は前年比
(出所)韓国貿易協会(2007)11ページの表

南→北の主要交易品目 (開城工団)

(単位: 千米ドル、%)

順位	品目	金額	増加率	構成比
1	鉄製構造物	50,719	102.5	22.8
2	軽油	12,396	17.2	5.6
3	連結部品	9,002	932.3	4.0
4	腕時計	8,581	550.5	3.9
5	靴の部品	7,564	372.7	3.4
6	鉄筋	5,984	50.7	2.7
7	建設中の装備	5,110	△ 50.9	2.3
8	手工具	4,753	△ 41.3	2.1
9	ミシン	4,048	233.9	1.8
10	無煙炭	4,044	242.4	1.8
	合計	112,201		50.4

(注) 品目はHSコード6桁、増加率は前年比
(出所) 韓国貿易協会(2007)10ページの表

第2回南北首脳会談合意事項

- 開城工業団地
 - 第2段階開発の着手
 - 労働力の速やかな保障、宿舎建設協力、通勤問題
 - 通行・通信・通関の改善
 - ムンサン～ポンドン間鉄道貨物輸送開始
- 黄海の平和と共同利益のための「西海平和協力特別地帯」の設置
- 南浦・安辺地域造船協力団地建設

第2回南北首脳会談合意事項

- 開城～平壤高速道路及び開城～新義州鉄道改補修の推進
- 資源開発、農業、保健医療等の分野での協力拡大
- 白頭山及び開城観光実施のための協力とソウル～白頭山直航路開設
- 社会文化分野での交流協力の推進
- 人道主義分野での協力事業の積極的な推進

将来の方向性

- 新政権発足後の韓国の対北政策と南北関係の展望
 - 継承されるもの
 - 再検討されるもの
 - 見直しがなされるもの
- 前提条件: 朴正熙大統領以降、韓国の歴代大統領は、好き嫌いに関係なく統一問題に関心を持たざるを得なかった

中朝経済関係

中国の対朝政策

- 核実験後は大幅な貿易制限→短期で収束
- 安定した経済発展環境の保持
 - 北朝鮮の核は直接的な脅威ではない
 - 地域の不安定化の方が大きな脅威
- 2007年までは大型国有企業の進出は報告されていない
 - 高いカントリーリスクが投資の障害に
 - 米朝関係の進展後、大規模投資の可能性

中国の北朝鮮に対する影響力

- 政治的影響力
 - かなり低下したが、伝統的な交流の歴史と人脈は他国よりは豊富
- 経済的影響力
 - 石油や食糧等、生命線を握る物資を輸出
 - これまでの取引関係による人脈・信用
 - 近年、投資も増加傾向(ただし総額は少ない)

2006年の北朝鮮の対中国輸出

(単位:千ドル、%)

HS	品目	2005年	2006年	増減率
26	鉱石、スラグ及び灰	95,066	118,425	24.6
27	鉱物性燃料及び鉱物油並びにこれらの蒸留物、歴青物質並びに鉱物性ろう	111,855	102,344	-8.5
62	衣類及び衣類附属品(メリヤス編み又はクロセ編みのものを除く。)	57,971	63,337	9.3
03	魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲(せい)無脊椎(せきつい)動物	92,432	43,266	-53.2
72	鉄鋼	72,596	35,249	-51.4
44	木材及びその製品並びに木炭	15,040	26,508	76.3
98	その他の貿易	-	10,284	-
08	食用の果実及びナット、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮	4,900	9,681	97.6
79	亜鉛及びその製品	11,417	9,283	-18.7
76	アルミニウム及びその製品	1,414	9,232	552.9

(出所) World Trade Atlasの資料をKOTRA資料より再引用

2006年の北朝鮮の対中国輸入

(単位:千ドル、%)

HS	品目	2005年	2006年	増減率
27	鉱物性燃料及び鉱物油並びにこれらの蒸留物、歴青物質並びに鉱物性ろう	258,714	347,483	34.3
02	肉及び食用のくず肉	104,219	111,868	7.3
85	電気機器及びその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像及び音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品及び附属品	56,597	97,577	72.4
84	原子炉、ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品	76,709	83,047	8.3
39	プラスチック及びその製品	52,402	51,975	-0.8
54	人造繊維の長繊維及びその織物	28,944	38,639	33.5
87	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品	28,310	27,929	-1.3
72	鉄鋼	34,899	27,620	-20.9
11	穀粉、加工穀物、麦芽、でん粉、イヌリン及び小麦グルテン	24,096	27,466	14.0
15	動物性又は植物性の油脂及びその分解生産物、調製食用脂並びに動物性又は植物性のろう	11,317	26,533	134.5

(出所) World Trade Atlasの資料をKOTRA資料より再引用

中国の対北朝鮮投資の現状

中国の非金融セクターの対北朝鮮投資フロー

(単位:1万米ドル)

2003年	2004年	2005年	2006年
112	1,413	650	1,106

(出所)『中国商務年鑑』2007年版、p. 298

中国の非金融セクターの対北朝鮮投資ストック

(単位:1万米ドル)

2003年末	2004年末	2005年末	2006年末
117	2,174	3,104	4,555

(出所)『中国商務年鑑』2007年版、p. 302

対外経済関係拡大の可能性

- 国内経済改革の進展と発展の限界
- 経済優先路線の継続(2007～08)
- 対米関係の改善(2006～07)
- 「核放棄」と対米関係の進展
 - 米朝関係の進展がカギ
 - カントリーリスクの低下と投資の増加
- どのようなセクターが有望か？

ご静聴ありがとうございました

